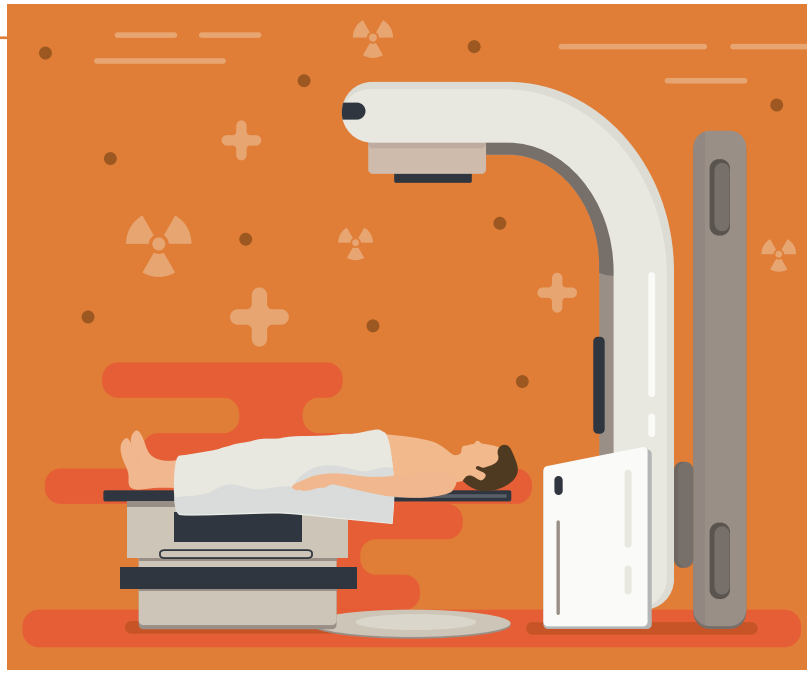
済生かわぐち

地域のみなさまと医療のかけはし　済生会川口総合病院　広報誌

ご自由にお持ちください

vol.255

特集 がんの放射線治療Q&A



がんの放射線治療Q&A

放射線科 部長／中村 香織

はじめに

「がん」は、日本人の死因第1位であり、約半分の人がかかる病気です。かつては縁遠い病気であったかもしれませんが、現代は「かかる可能性がとても高い病気」です。

手術、薬物療法に並ぶ「がん治療の三本柱」の一本である放射線治療は、欧米ではがんにかかった患者さんのうち半数強が経験する治療であり、日本でも徐々に普及が進んでいます。

そんな放射線治療について、よくあるご質問にお答えする形式でご紹介いたします。

Q 済生会川口総合病院の放射線治療って、どんな治療ですか？

A **X（エックス）線を数分間、病気の部分に照射する ＝ 体外照射です。**

当院はレントゲン写真と同じ「X（エックス）線」で治療をしています。放射線発生機械（リニアック・直線加速器）から「がん」の部分へ向けて数分間、X線が照射されます。（写真1）

健診で胸部レントゲン写真の検査を受けたことがあると思います。がん治療の放射線治療も、レントゲン写真の時と同じく、光も熱も衝撃も感じないので、いつ治療されたのか全く分かりません。

写真1 放射線治療装置の治療イメージ

Q 副作用はありますか。つらいですか？

A **いいえ。多くの場合、つらい副作用は感じません。**

食欲がない・だるい・髪が抜ける・免疫力

が落ちるといった全身への副作用は減多にありません。治療した部分にしか副作用は出ないので、頭に放射線治療をしない限り、放射線治療では髪は抜けません。副作用を軽くするためのお薬も必要な時にはお渡し、快適に治療ができるようにサポートいたします。

Q どんな「がん」にかかった時に受けるのですか？

A 全身のどんな種類の「がん」に対しても放射線治療を受ける可能性があります。

手術・薬物療法・放射線治療の方法、効果と安全性、長所と短所の説明を外科医・内科医からも説明を受けます。その上で、患者さんが大切と考えることを達成しやすい治療方法を選んでいきます。（例：期間はかかっても入院せず治療を続けたい、入院して短期間で治療を済ませたい、副作用が少ない治療にしたい など）

2022年度に当院で放射線治療を受けた患者さんは乳がん、前立腺がん、肺がんの順に多く、その他にも食道がん、直腸がん、胃がん、腎臓がん、膀胱がん、転移性腫瘍（骨・脳など）など多岐に渡ります。

Q 放射線治療を希望していますが、手術・抗がん剤治療には耐えられる体力がないと受持ち医師から言われました。

A ご相談にのります。

手術・抗がん剤を行うには体力が十分でない人でも、放射線治療は安全に受けていただき、がんを完治させられる場合が少なからずあります。（例：肺癌への定位照射、前立腺癌への強度変調放射線治療）

放射線治療の技術は日々進歩しているので、がん治療をあきらめてしまう前に、放射線治療専門医と直接相談することをお勧めします。

写真2　放射線治療計画例（正面からみた画像）

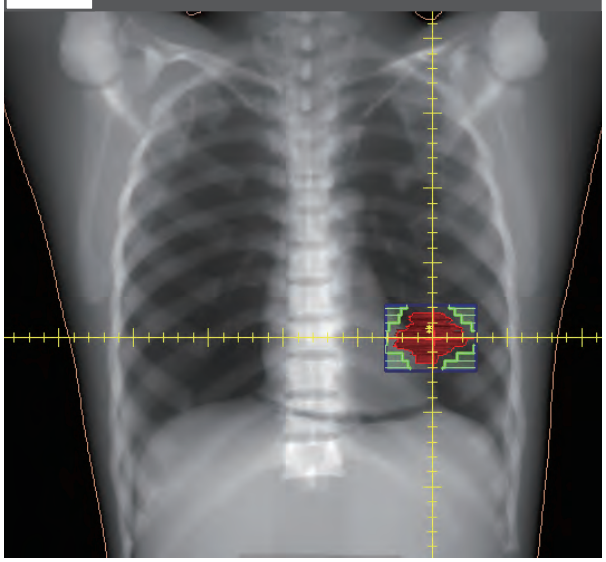


写真2、3、4は放射線治療を始める前に、病巣をターゲットにした計画イメージです。

写真3　放射線治療計画例（足元側からみた輪切り画像）

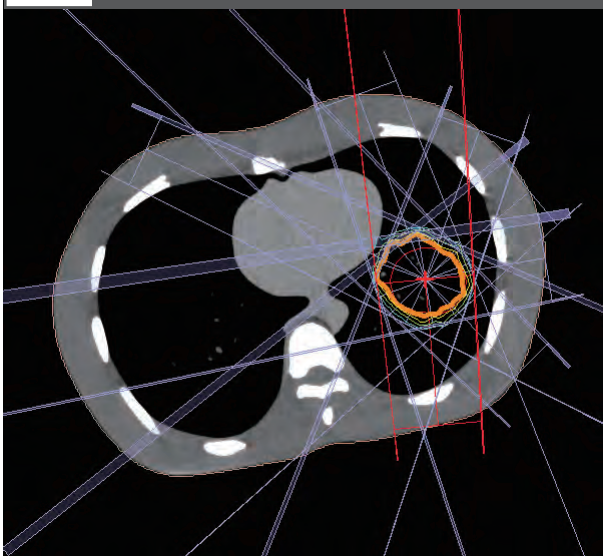
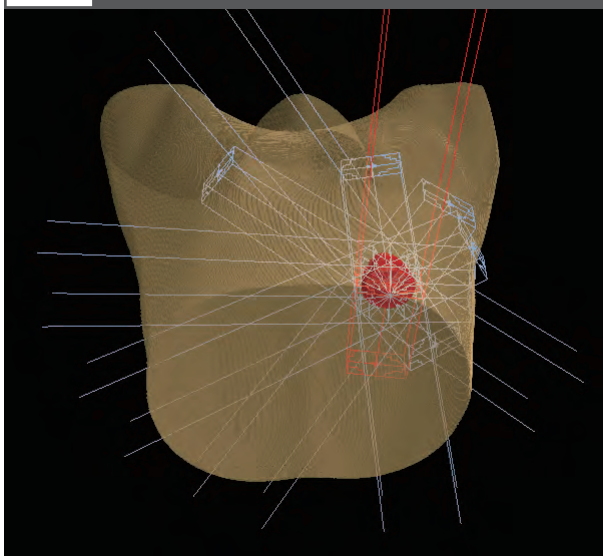


写真4　放射線治療計画例（3D 写真）



Q がんの転移による痛みに困っています。放射線治療を行うと痛みは改善しますか？

A 放射線治療は骨転移の痛みに効きます。

鎮痛剤は「痛み」に対して効きますが、放射線は「がん＝痛みの原因」に効く治療なので、鎮痛剤と上手に組み合わせることで、痛みが軽くなり、人によっては鎮痛剤の量を減らせるようになることもあります。

Q 入院・休職は必要ですか？

A 放射線治療のみの場合には、必要ありません。

仕事を含む日常生活が送れなくなるほどの副作用はでない場合がほとんどです。

病気からの体調不良や点滴による抗がん剤治療が行われていない患者さんは、入院はせずほぼ全員が外来通院で治療を受けられます。

通院のため、職場とは遅刻・早退などの時間調整が必要にはなりますが、休職をする必要はありません。

Q 家族の付き添いは必要ですか？

A はい、説明を受ける時には付き添いをお願いします。

手術や放射線治療などの説明を受ける日には、患者さんは耳慣れない情報をたくさん受けとめて「頭も心もいっぱいの状態」になります。ご家族も一緒に話を聞きにきていただき、患者さんをサポートしていただけることをお願いしています。

治療が始まってからは、副作用で苦しむことはめったにないので、付き添いは不要です。

Q 健康保険が使えますか？

A はい、使えます。

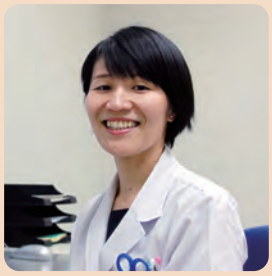
当院で行っている放射線治療はすべて健康保険の適用で、高額療養費制度（＝自己負担限度額を超えた分は、後日払い戻される制度）も適用されます。たしかにがん治療には、お金がかかりますが、放射線治療だけが特別に高額ということはなく、手術や薬物治療と同程度から低い費用負担の場合が多いです。

Q どうやって受診すればいいですか？

A まずは、主治医に放射線治療の話を聞きたい意向を伝えてみましょう。

がんの状態が分かる検査画像や治療経過をもとに、放射線治療の適否を判断しますので、紹介状と検査データを主治医に準備してもらってから、放射線科の初診予約（完全予約制）をお願いいたします。

少しでも不安が解消した部分がありましたか。今回のQ&Aではこれまでに相談を受けることが多かったものをご紹介いたしました。ご気軽に受診のご相談をして下さい。



放射線科 部長
中村 香織
日本医学放射線学会認定
放射線治療専門医・研修指導者
日本放射線腫瘍学会認定
放射線治療専門医
日本がん治療認定医機構
がん治療認定医

入院関連障害（HAD）をご存じですか？

入院関連障害（Hosptalization-Assciated Disability 以下HAD）という言葉をご存じでしょうか？

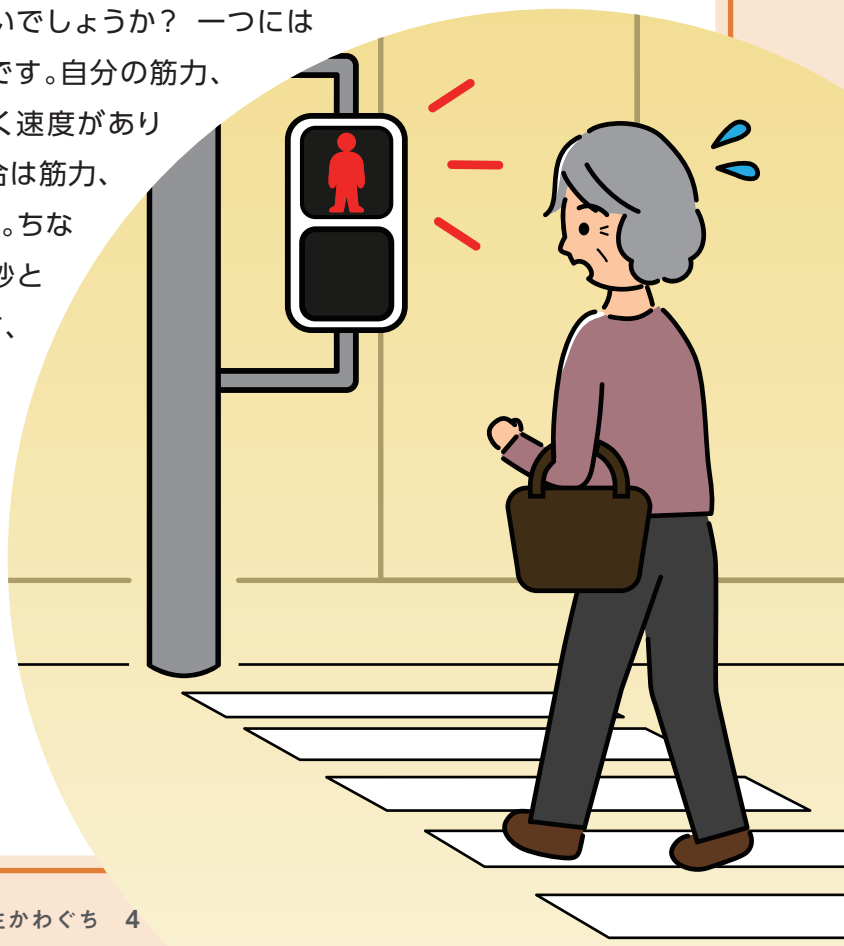
入院前には自立していた生活動作（入浴、更衣、ベッドや椅子からの起き上がり－立ち上がり、トイレ、食事、室内歩行）が、退院の際に一つでも介助が必要になることをHADといいます。

70歳以上で急性発症した病気で入院した方のうち30%がHADに陥り、85歳以上だと50%以上が退院時に新たな生活動作障害を起こすと言われます。

HADを起こす原因は「安静」です。入院中は87～100%の時間を座っているか寝て過ごします。この安静により1日当たり2%の筋肉を失うと言われています。失った筋肉を戻すには栄養と高負荷の運動が必要ですが食事制限であったり体力低下などで高齢者が筋肉をつけることは容易ではありません。

HADを避けるためにはどうしたらよいでしょうか？ 一つには日ごろから筋力、体力をつけておくことです。自分の筋力、体力の低下を知る簡単な方法としては歩く速度があります。1mを歩くのに1秒以上かかる場合は筋力、体力が低下していると考えてよいでしょう。ちなみに横断歩道の青信号の時間は1m1秒となっていますので横断歩道が渡れない方、渡れても余裕がない方は要注意でしょう。ウォーキングなど出来る範囲で始めることをお勧めします。

そしてもう一つは入院中なるべく安静にしないことです。動ける方は積極的に院内を歩くと良いでしょう。行動を制限されている方はリハビリの時に十分運動をするようにしてください。



医療連携登録医のご紹介　あなたの町のホームドクター

当院では、患者さんにより良い医療を提供するため、地域の医療機関の先生方（かかりつけ医）と連携、役割分担をおこなっています。

ハートピアデンタルオフィス西川口

歯科　小児歯科　矯正歯科　歯科口腔外科

当院では、小さなおこさんからご高齢の方まで、末長く歯の健康を守れるよう全力でサポートしてまいります。かかりつけ医として、どのようなお口の状態であっても妥協せず、ベストを尽くして歯科医療を提供する事をお約束します。
心身に配慮した声掛けや気軽に相談できる関係づくり、医院についての情報発信に努めております。安心してご来院ください。

院長 家持（かもち） 剛（ごう） 先生

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	－	○	○	○
午後	○	○	○	－	○	○	○

○月・火・水・金・土・日・祝
午前 10:00～13:30　午後 15:00～19:00
※WEB予約可能です。詳しくはホームページにてご確認ください。
※祝日診療あり。

住所：埼玉県川口市西川口2-3-5 西川口SC店内
TEL：048-229-0922

こむら循環器内科クリニック

循環器内科　内科

当クリニックでは、患者さんの食事や運動、睡眠などの生活習慣をスタッフで共有し合い、その情報をもとに高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病に対して、きめ細かい指導や治療を行います。そのためにも患者さんとの対話による信頼関係の構築を大切にしたいと思っています。健康に関する不安や疑問などについて、何でも相談してください！様々な病院で多くの患者さんを診てきた経験を生かし、分かり易い説明と患者さんに寄り添った医療を目指していきます。

院長 小村（こむら） 悟（さとる） 先生

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	－
午後	○	○	○	○	○	－	－

○月・火・水・木・金
午前 09:00～12:00　午後 14:00～18:00
※水曜午後　14:00～17:00　18:00～20:00
○月・火・水・金　07:30～09:00 オンライン診療
○土　午前 09:00～13:00
○第2土曜　14:00～17:00 デバイス外来（完全予約制）
※WEB予約可能です。詳しくはホームページにてご確認ください。

住所：埼玉県川口市栄町3-10-18
TEL：048-229-3710

赤羽もり内科・腎臓内科

腎臓内科　糖尿病内科　生活習慣病

当院は腎臓病・糖尿病・生活習慣病に特化した重症化予防クリニックで、「相談」と「検査」に力を入れています。小さいアットホームなクリニックではありますが、医師・看護師・管理栄養士を中心に 20 名ほどのスタッフがチームとなって重症化予防をテーマに診療をしています。
生活習慣病における栄養相談と健康診断では行われないような専門の検査が行えますので、不安なことがございましたらお気軽にご相談ください。

もり　いくろう
院長 **森 維久郎** 先生

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	−
午後	○	−	○	○	−	○	−

○月・水・木・土
午前 09:00〜13:40　午後 16:00〜18:40
○火・金
午前 09:00〜13:40
※火曜日の糖尿病外来は13時までです。
※WEB予約可能です。詳しくはホームページにてご確認ください。

住所：東京都北区赤羽2-4-5
TEL：03-5249-3210

ひろ小児科ファミリークリニック

小児科　小児心療内科　小児循環器内科

上青木小学校前停留所の目前に立地しております。一般小児科以外に小児循環器内科、小児心療内科の診療をさせていただきます。
2 名（男性：院長、女性：副院長）の小児科専門医により「こどものこころの診療」「こどもの心臓診療」のサポートをさせていただきます。こどもの総合診療医として向き合わせていただきますので、ご相談ください。また、患者様ご家族の大人の方の基本診療についても対応させていただきます。

かみやま　ひろし
院長 **神山 浩** 先生

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	−
午後	○	−	○	○	○	−	−

○月・水・木・金
午前 09:00〜12:00　午後 16:00〜18:30
○火・土　午前 09:00〜12:30
○予約予防接種　月・水・木・金 14:00〜
土 12:30〜13:30
○乳幼児健診　月・水・木・金 14:00〜
※土曜12:30〜13:30（完全予約）水曜17:00までの診療となります。
※診療日についてはホームページ上の診療カレンダーにてご確認下さい。

住所：埼玉県川口市上青木3-3-1
TEL：048-266-1155

INFORMATION

院長日誌

国は新型コロナウイルス感染症、2023.5.8より感染症法上の分類を2類から5類に引き下げ、多くの医療機関で外来・入院治療が行われています。現在当院でも中等症の方、基礎疾患があり重篤化しそうな方のみ入院して治療をしているような状況です。国民は最近この感染症に対する関心も薄れてきており、手洗い・マスク着用もほとんどしないようになっています。集団免疫の獲得が進み、いつかは徐々に恐れなくてもいい疾患にはなるにせよ、まだその条件は整ってないように思います。またインフルエンザをはじめ他のウイルス感染症もひろがってきており、みなさんにはできればアルコール消毒の継続、少なくとも石鹸を使った手洗いの励行をお願いしたいところです。

病院長 佐藤 雅彦

小児健康教室

参加費 無料

オンライン開催です。
ご自宅でゆっくりと視聴していただけます。

テーマ❶：音楽療法

- 内　　容：音楽療法について
- 配信予定：2023年11月6日～11月20日
  （申込10月2日～）

テーマ❷：小児のけいれん

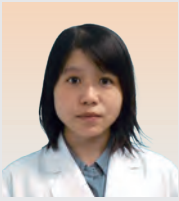
- 内　　容：けいれんについて／発作時の看護及び予防／予防接種と育児相談
- 配信予定：2023年12月11日～12月25日
  （申込11月13日～）

■ お問い合わせ：小児科 0570-08-1551（代表）
（平日 15：00 ～ 16：30）
※事前申し込みが必要です。
詳しくは当院ホームページでご確認ください。

申し込みは こちらから ▲

新任医師紹介

呼吸器内科
長井 浩二



呼吸器内科
杉谷 帆波

整形外科
須賀 国広

外科
矢作 竜太

放射線科
金﨑 里絵

産婦人科
阪口 百佳

【公式】
済生会川口総合病院
LINE ▶

【公式】
済生会川口総合病院
Instagram ▶

【公式】
済生会川口総合病院
マタニティInstagram ▶

バックナンバー

病院の理念

患者さんを中心とした
質の高い医療の提供により
地域・社会に貢献します

社会福祉法人恩賜財団済生会支部
埼玉県済生会川口総合病院

採用情報 はこちら

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5 ●TEL：0570-08-1551（代）
済生かわぐち 第255号　2023年10月25日発行 ●発行人：病院長　佐藤 雅彦 ●編集：経営企画課